

2026

令和 8 年 4 月入学

【総合型入試】（第 2 次募集）

【一般入試】（B 日程）

【社会人特別入試】（B 日程）

【推薦入試】（B 日程）

令和 8 年 1 0 月入学

【一般入試】（B 日程）

【社会人特別入試】（B 日程）

【推薦入試】（B 日程）

大学院 持続可能社会創成学環 （修士課程）

- 社会データサイエンスプログラム
- グローバルSDGsプログラム

令和 7 年 1 1 月

富山大学

不測の事態により、試験日程等本学生募集要項の内容を変更する場合があります。変更する必要がある場合は、本学ウェブサイトでお知らせいたしますので、最新の情報を確認するよう留意してください。

<https://www.u-toyama.ac.jp>

持続可能社会創成学環では、令和8年度から入学定員において、「2名増員」を現在、文部科学省に申請しています。

詳細については、本学ウェブサイトにてご確認ください。

URL : <https://www.u-toyama.ac.jp/news-topics/118425/>

2025年度	
入学定員	プログラム [募集人員]
18名	社会データサイエンスプログラム [8 名]
	グローバルSDGsプログラム [10名]

本学環の定員は、大学院人文社会芸術総合研究科人文社会芸術総合専攻の定員 8 人及び大学院理工学研究科理工学専攻の定員 10 人を拠出するものです。



2026年度以降	
入学定員	プログラム [募集人員]
<u>20名</u>	社会データサイエンスプログラム [8 名]
	グローバルSDGsプログラム [<u>12名</u>]

本学環の定員は、大学院人文社会芸術総合研究科人文社会芸術総合専攻の定員 9 人 及び大学院理工学研究科理工学専攻の定員 11 人 を拠出するものです。

目 次

大学院持続可能社会創成学環（修士課程）入学者受入れの方針 （アドミッション・ポリシー）	1
大学院持続可能社会創成学環（修士課程）入学者選抜の概要	2
I 推薦入試	4
II 一般入試	6
III 社会人特別入試	9
IV 総合型入試	11
共通事項	
1. 出願手続	13
2. 出願資格認定申請について	20
3. 受験票及び受験上の注意事項の印刷	21
4. 合格者発表	21
5. 入学手続	22
6. 注意事項	23
7. 安全保障輸出管理について	23
8. 障害を有する入学志願者の事前相談	23
9. 志願者の個人情報保護について	24
10. 大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例措置について ..	24
11. 入試情報開示	25
富山大学大学院持続可能社会創成学環（修士課程）案内	26

大学院持続可能社会創成学環（修士課程）
入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【入学者受入れの方針】

持続可能社会創成学環は、データサイエンスやサステナビリティ学など持続可能社会に関連する学問分野に強い関心と基礎的能力を有し、将来、高度専門職業人として持続可能社会の実現に貢献する意欲のある学生を求めます。

○社会データサイエンスプログラム

社会データサイエンスプログラムは、基礎的能力及びデータサイエンス・AIの強い学修意欲をもち、将来、専門知識と技術を活かして持続可能社会の実現に貢献する意欲のある学生を求めます。

○グローバルSDGsプログラム

グローバルSDGsプログラムは、サステナビリティ学に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして持続可能社会の構築に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求めます。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

○社会データサイエンスプログラム

・総合型入試

面接（学力に関する口頭試問を含む）及び出願書類（学業成績証明書など）により、学士課程までに修得した知識、研究課題及びその解決に必要な知識・スキルを設定する能力、コミュニケーション力、論理的思考力を総合的に評価する。

○グローバルSDGsプログラム

・一般入試

口述試験（プレゼンテーションを含む）及び出願書類（学業成績証明書、外部英語試験など）を総合して評価する。

・推薦入試

口述試験（プレゼンテーションを含む）及び出願書類（学業成績証明書など）を総合して評価する。

・社会人特別入試

口述試験（プレゼンテーションを含む）及び出願書類（学業成績証明書など）を総合して評価する。

令和8年4月入学大学院持続可能社会創成学環（修士課程）入学者選抜の概要

募集人員

プログラム名	募集人員		
社会データサイエンス プログラム	総合型入試（第2次）		
	2人		
グローバルSDGs プログラム	推薦入試 (B日程)	一般入試 (B日程)	社会人特別入試 (B日程)
	若干名	5人	若干名
合計	7人		

入学試験関係日程

・社会データサイエンスプログラム

試験区分	出願期間	試験日	合格発表日
総合型入試（第2次）	令和7(2025)年 12月15日(月) ～ 12月19日(金)	令和8(2026)年 1月21日(水)	令和8(2026)年 2月3日(火)

・グローバルSDGsプログラム

試験区分	出願期間	試験日	合格発表日
推薦入試（B日程） 一般入試（B日程） 社会人特別入試 （B日程）	令和7(2025)年 12月15日(月) ～ 12月19日(金)	令和8(2026)年 1月21日(水)	令和8(2026)年 2月3日(火)

令和8年10月入学大学院持続可能社会創成学環（修士課程）入学者選抜の概要

募集人員

プログラム名	募集人員		
	推薦入試 (B日程)	一般入試 (B日程)	社会人特別入試 (B日程)
グローバルSDGs プログラム	若干名	若干名	若干名
合計	若干名		

入学試験関係日程

・グローバルSDGsプログラム

試験区分	出願期間	試験日	合格発表日
推薦入試 (B日程) 一般入試 (B日程) 社会人特別入試 (B日程)	令和7(2025)年 12月15日(月) ～ 12月19日(金)	令和8(2026)年 1月21日(水)	令和8(2026)年 2月3日(火)

I 推薦入試

1. 募集人員

プログラム名	募集人員	
	令和 8 (2026) 年 4 月入学	令和 8 (2026) 年 10 月入学
グローバル SDGs プログラム	若干名	若干名

2. 出願資格

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び入学希望月の前月末日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における 16 年の課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 入学希望月の前月末日現在で大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学環において認めた者
- (10) 大学卒業までに 16 年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって

次の二つの条件を満たし、かつ本学環において、我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

a. 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事した者及び入学希望月の前月末日までにおおむね1年以上研究に従事する見込みの者

b. 入学希望月の前月末日までに22歳に達する者

(11) 本学環において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学希望月の前月末日までに22歳に達する者

(注) 出願資格(9)、(10)又は(11)により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査が必要となりますので、20ページ「2. 出願資格認定申請について」を参照してください。

3. 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、出身学校の学業成績証明書(配点300点)及び口述試験(プレゼンテーションを含む)の結果(配点700点)を総合して行います。

口述試験では、「卒業論文の概要および大学院での研究計画」について約7分間のプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションで用いる資料の作成については、後日通知します。

(2) 試験場所 富山大学五福キャンパス(富山市五福3190)

なお、海外在住の方に限り、やむを得ない事情により来学が難しい場合は、オンラインでの受験が可能です。

(3) 試験期日及び試験科目

期 日	時 間	試験科目等
令和8(2026)年1月21日(水)	9:30～	口述試験 (プレゼンテーションを含む)

Ⅱ 一般入試

1. 募集人員

プログラム名	募集人員	
	令和 8 (2026) 年 4 月入学	令和 8 (2026) 年 10 月入学
グローバル SDGs プログラム	5 人	若干名

2. 出願資格

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び入学希望月の前月末日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における 16 年の課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 入学希望月の前月末日現在で大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学環において認めた者

- (10) 大学卒業までに 16 年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって次の二つの条件を満たし、かつ本学環において、我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- a. 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね 1 年以上研究に従事した者及び入学希望月の前月末日までにおおむね 1 年以上研究に従事する見込みの者
 - b. 入学希望月の前月末日までに 22 歳に達する者
- (11) 本学環において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学希望月の前月末日までに 22 歳に達する者

(注) 出願資格 (9), (10) 又は (11) により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査が必要となりますので、20 ページ「2. 出願資格認定申請について」を参照してください。

3. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、出身学校の学業成績証明書 (配点 100 点)、外部英語試験の結果 (配点 200 点) 及び口述試験 (プレゼンテーションを含む) の結果 (配点 700 点) を総合して行います。

口述試験では、「卒業論文の概要および大学院での研究計画」について約 7 分間のプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションで用いる資料の作成については、後日通知します。

外部英語試験については、次のとおり換算した点を 2 倍して 200 点満点とする。

以下の換算式により、100 点を満点とする「換算点」で表す。

外部英語試験の種類は、TOEIC Listening & Reading 公開テスト、TOEIC-IP、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP とします。

なお、利用するスコアは令和 4 (2022) 年 4 月 1 日以降の試験を受験したものに限りま

- ・ TOEIC Listening & Reading 公開テスト、TOEIC-IP

730 点以上 = 100 点

730 点未満の場合

換算点 = $100 \times (\text{TOEIC のスコア}) / 730$

- ・ TOEFL-iBT

70 点以上 = 100 点

70 点未満の場合

換算点 = $100 \times (\text{TOEFL-iBT のスコア}) / 70$

- ・ TOEFL-ITP

525 点以上 = 100 点

525 点未満の場合

換算点 = $100 \times [(\text{TOEFL のスコア}) - 310] / 215$

310 点以下 = 0 点

「換算点」の計算は、小数点以下1桁目を四捨五入して算定する。
ただし外国籍を有する者で、TOEIC/TOEFLを受験していない場合は、以下のとおりとします。

- ・IELTS

6.0以上=100点

6.0未満の場合

換算点=100×{(IELTSのスコア)-1} /5

- ・英語能力を示す他の検定等の結果（成績がわかるもの）
プログラムが定める点数で表す。

(2) 試験場所 富山大学五福キャンパス（富山市五福 3190）

なお、海外在住の方に限り、やむを得ない事情により来学が難しい場合は、オンラインでの受験が可能です。

(3) 試験期日及び試験科目

期 日	時 間	試験科目等
令和8(2026)年1月21日(水)	9:30～	口述試験 (プレゼンテーションを含む)

Ⅲ 社会人特別入試

1. 募集人員

プログラム名	募集人員	
	令和 8 (2026) 年 4 月入学	令和 8 (2026) 年 10 月入学
グローバル SDGs プログラム	若干名	若干名

2. 出願資格

出願できる者は、入学希望月の前月末日までに、社会人の経験（大学その他の学校在学期間を除く）を1年以上有し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (8) 本学環において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学希望月の前月末日までに 22 歳に達する者

(注) 出願資格（8）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査が必要となりますので、20 ページ「2. 出願資格認定申請について」を参照してください。

3. 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、出身学校の学業成績証明書（配点 300 点）及び口述試験（プレゼンテーションを含む）の結果（配点 700 点）を総合して行います。

口述試験では、「卒業論文の概要および大学院での研究計画」について約 7 分間のプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションで用いる資料の作成については、後日通知します。

(2) 試験場所 富山大学五福キャンパス（富山市五福 3190）

なお、海外在住の方に限り、やむを得ない事情により来学が難しい場合は、オンラインでの受験が可能です。

(3) 試験期日及び試験科目

期 日	時 間	試験科目等
令和 8 (2026) 年 1 月 21 日 (水)	9 : 3 0 ~	口述試験 (プレゼンテーションを含む)

IV 総合型入試

1. 募集人員

プログラム名	募集人員
	令和8(2026)年4月入学
社会データサイエンスプログラム	2人

2. 出願資格

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び入学希望月の前月末日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における16年の課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 入学希望月の前月末日現在で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学環において認めた者

(10) 大学卒業までに 16 年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって次の二つの条件を満たし、かつ本学環において、我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

a. 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね 1 年以上研究に従事した者及び入学希望月の前月末日までにおおむね 1 年以上研究に従事する見込みの者

b. 入学希望月の前月末日までに 22 歳に達する者

(11) 本学環において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学希望月の前月末日までに 22 歳に達する者

(注) 出願資格 (9), (10) 又は (11) により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査が必要となりますので、20 ページ「2. 出願資格認定申請について」を参照してください。

3. 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、面接（学力に関する口頭試問を含む）（配点 200 点）及び出願書類（学業成績証明書など）（配点 100 点）により、学士課程までに習得した知識、大学院修士課程における研究課題及びその解決に必要な知識・スキルを設定する能力、コミュニケーション力、論理的思考力を総合的に評価して行います。なお、学力に関する口頭試問は、主に専門知識について問います。

(2) 試験場所 富山大学五福キャンパス（富山市五福 3190）

なお、海外在住の方に限り、やむを得ない事情により来学が難しい場合は、オンラインでの受験が可能です。

(3) 試験期日及び試験科目

期 日	時 間	試験科目等
令和 8 (2026) 年 1 月 21 日 (水)	9 : 3 0 ~	面接 (学力に関する口頭試問を含む)

共 通 事 項

1. 出願手続

出願はインターネット出願のみとします。出願手続は、インターネット出願サイトでの出願登録及び検定料の支払いを行った後、出願期間中に必要な書類等を書留速達郵便で郵送することにより完了します。以下の「インターネット出願の流れ」をよく読み、手続を行ってください。

インターネット出願の流れ



事前準備

17 ページを参照してください。

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。
※必要書類…各種証明書、写真など



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出 願 サイト

<https://e-apply.jp/ds/toyama-gs/>

または、

大学ウェブサイト
からアクセス

<https://www.u-toyama.ac.jp/>



出願はインターネット出願サイトでの登録完了後(STEP2)、検定料を支払い(STEP3)、必要書類を印刷・郵送(STEP4、STEP5)して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。
インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願書類は出願期間最終日16時必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

1

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP2に進んでください。



①初めて登録の方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

2



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望研究科等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



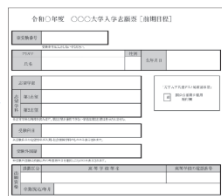
⑥出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

出願受付番号
メモ(12桁)

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブンイレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **58021** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のしないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

3

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願登録内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

ウェブで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなとも、コンビニ、FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

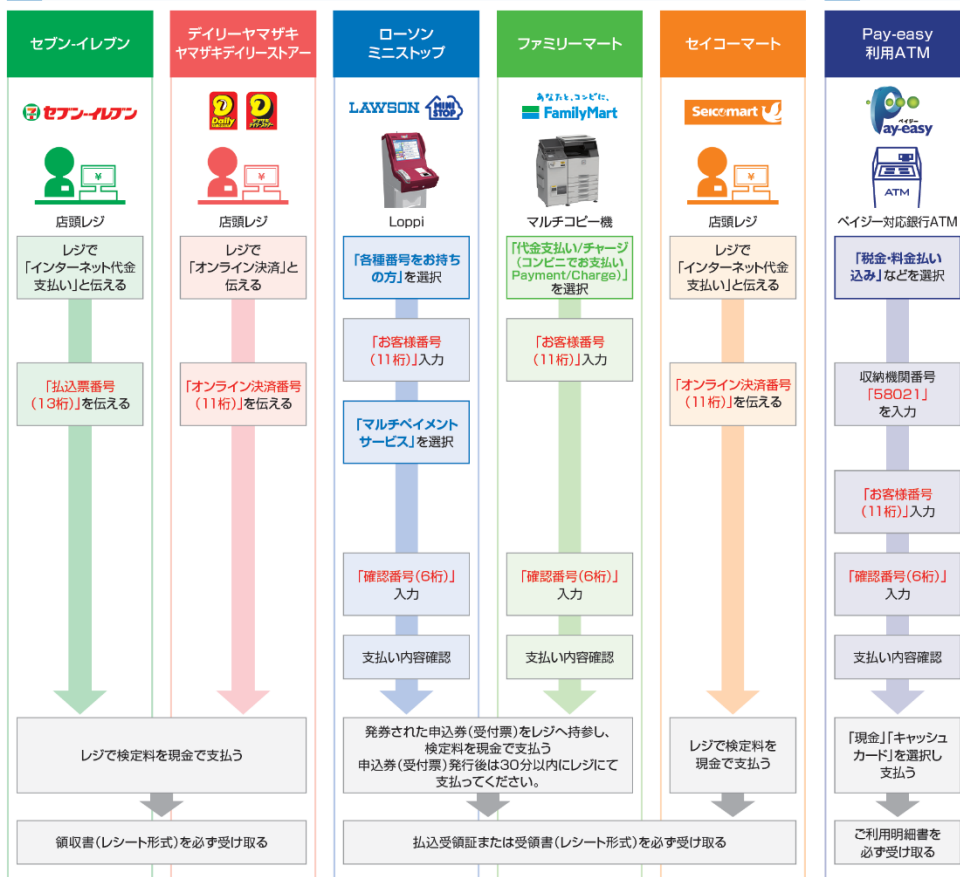
出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。



各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



4 銀行ATM

STEP

4



必要書類の印刷

「出願内容の確認／志願票の印刷」ボタンからログインし、
志願票等必要書類を**A4用紙にカラー印刷**
してください。

志願票PDF(イメージ)

STEP

5



出願書類の郵送

登録しただけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

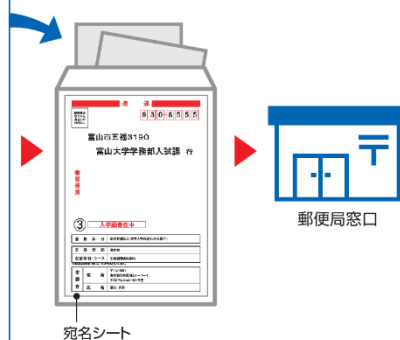
出願に必要な書類を出願期間内に郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。

出願に必要な書類は、本学生募集要項の19～20ページを参照して準備してください。
<出願書類到着期限>

令和7（2025）年12月19日(金)16時必着
ただし、12月18日(木)消印有効



宛名シート

出願書類の郵送先は宛名シートに
自動で印字されます。
宛名シートを市販の角形2号封筒(240mm
×332mm)に貼り付けてください。

※一旦受理した検定料・出願書類は、募集要項で明記している理由によるものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

※受理についての電話等による問い合わせには一切応じません。

STEP

6



受験票の印刷 21 ページを参照してください。

受験票等発行日以降に、インターネット出願サイトから受験票が印刷
できるようになります。「受験票の印刷」ボタンからログインし、印刷して
ください。

受験票は必ず**A4用紙にカラー印刷**して、試験当日に持参してください。

(1) 事前準備

書類等	摘 要
パソコンの利用環境	PC 利用時推奨ブラウザ ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 ※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行いますと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がございます。複数タブでの同時申込操作はお控えください。 前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず、画面内に表示されている「戻る」ボタンをご利用ください。 スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ・OS ・ iOS 12 以上 ・ Android OS 8 以上 ・ iPadOS 13 以上 ※ 各 OS の標準ブラウザが推奨環境となります。 ※ お使いのブラウザで表示が崩れることがございましたら、他のブラウザにてご確認ください。 ※ Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合がありますので、モバイル版をご利用ください。
PDF 表示・印刷ソフトウェア	入学志願票(PDF)の表示・印刷にはアドビシステムズ社が配布している Adobe Acrobat Reader（無償）が必要です。
メールアドレス	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。 なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp スマートフォン・携帯電話の通信会社から発行されるメールアドレスを登録される方は、各通信会社の迷惑メールフィルターの解除方法に従って、@e-apply.jp からのメールが届くように設定してください。
本人写真	出願にあたって顔写真データ（ファイル形式（jpeg, jpg, png, bmp）、最大 10 MB まで）を用意してください。 写真の大きさは縦 4：横 3 の比率を推奨します。 写真は本人確認に使用します。 出願前 3 ヶ月以内に撮影した正面、上半身、無帽、背景なしの写真データ（カラー）を用意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明（ぼやけている、影がある）、無背景でない（背景に風景が写っている、背景に模様がある）、化粧や前髪が目にかかるなど本人確認が困難、写真に加工を施している、現像された写真を再撮影しているなど

プリンター	入学志願票及び受験票（PDF）を出力するため、A4 普通紙に印刷することができるカラープリンターが必要です。 印刷用紙（普通紙・PPC 用紙・OA 共通用紙・コピー用紙等）とともに用意してください。
角 2 封筒	入学志願票等の出願書類を郵送するため、市販の角形 2 号封筒（240 mm×332mm）を用意してください。入学志願票を印刷した際に出力される「宛名シート」を封筒に貼り付けて使用してください。

（２）出願期間

12 月 15 日(月)～12 月 19 日(金) 16 時

インターネット出願の登録と検定料(30,000 円)の納入は、12 月 15 日(月) 9 時から可能です。

出願に必要な書類は、出願期間内に必着するように書留速達郵便（国外から郵送する場合は、EMS 等の追跡可能な手段）で郵送してください。

持参による出願は認めません。郵便事情を考慮して余裕をもって郵送してください。

出願期間後に到着したものは受理しないので注意してください。

ただし、出願締切日の前日、あるいはそれ以前の日付の消印（日本国内の郵便の消印に限る）のある書留速達郵便に限り、出願期間以降に到着した場合でも受理します。

なお、書留速達郵便で送付した出願封筒について、本学への到着（配達）の有無の問い合わせには応じません。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により、志願者本人が確認してください。

なお、指導教員の研究指導内容と希望する研究計画があっているかを確認するため、入学志願者は、志望するプログラム・教育分野の指導教員に、研究計画について必ず事前に相談してください。

（３）検定料 30,000 円

検定料は、14 ページの STEP2「出願内容の登録」完了後に行います。本学の「インターネット出願サイト(<https://e-apply.jp/ds/toyama-gs/>)から出願し、志願者登録完了後、検定料決済を行ってください。検定料の支払方法は 15 ページの STEP3「検定料の支払い」により、確認してください。検定料支払完了後に、入学志願票等の印刷が可能となります。ただし、国費留学生は、検定料の納入は不要です。

なお、検定料の支払いには、別途手数料が必要です。手数料は支払人負担となります。

また、災害による被災者に対して検定料免除の制度があります。詳細は本学のウェブサイト参照してください。

一旦、受領した検定料は、次の場合を除き、返還しません。

- ① 検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合 《返還額》 30,000 円

② 検定料を二重に払い込んだ場合 《返還額》 30,000 円

③ 授業料を多く払い込んだ場合《返還額》 多く払い込んだ額
ただし、返還時の振込手数料は、受取人負担とします。

※ 返還請求の方法

別添の「入学検定料返還請求書」に必要事項を記入し、本学へ郵送してください。

「 送付先：〒930 - 8555 富山市五福 3190 富山大学財務施設部経理第一課
電話 076-445-6053 」

(4) 出願書類等

以下の必要書類を「宛名シート」を貼付した封筒に入れ、書留速達郵便（国外から郵送する場合は、EMS 等の追跡可能な手段）で送付してください。

① インターネット出願サイトから印刷する書類

書 類 等	摘 要
1 入学志願票	インターネット出願サイトから A 4 サイズでカラー印刷してください。 検定料の支払い後に、印刷が可能となります。
2 宛名シート	インターネット出願サイトから A 4 サイズでカラー印刷してください。 市販の角形 2 号封筒 (240mm×332mm) に剥がれないように貼付してください。
3 誓約書	インターネット出願サイトから A 4 サイズで印刷してください。「7. 安全保障輸出管理について」(23 ページ) を参照してください。

※ 印字されている内容に誤りがないか、必ず確認してください。

② 志願者が準備する書類

書 類 等	摘 要
1 卒業（見込）証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したもの。なお、本学学部卒業見込者は提出する必要はありません。
2 学位授与証明書 又は学位授与申請（予定）証明書	【出願資格（2）に該当する者のみ提出】 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行するもの、もしくは短期大学学長又は高等専門学校長が発行する学位授与申請（予定）証明書
3 学業成績証明書	出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの。ただし、偽造・複写防止用紙使用の場合は厳封不要です。
4 TOEIC/TOEFL の スコアシートの コピー (※外国籍を有する者で、 TOEIC/TOEFL を 受験していない 場合は、英語能力 を示す他の検定 等の結果（成績 がわかるもの）	【一般入試志願者】 下記の①から④のいずれかのスコアシートのコピー（A4 サイズ）を提出してください。ただし、複数のスコアシートを持っている場合は2部まで提出可とします。 (※外国籍を有する者で、TOEIC/TOEFL を受験していない場合は、英語能力を示す他の検定等の結果（成績がわかるもの）を提出してください。) ①TOEIC Listening & Reading の Official Score Certificate (公式認定証) ②TOEIC-IP のスコアレポート（個人成績表） ③TOEFL iBT の Test Taker (Examinee) Score Report ④TOEFL-ITP のスコアレポート なお、スコアシートは2022年4月1日以降のテストに対し発行されたものに限り、試験当日に原本確認を行うため、必ず持参してください。原本を持参しなかった場合、選抜の対象とはなりませんので注意してください。

5	推薦書 (所定の様式)	【推薦入試・社会人特別入試志願者】 出身大学の学長（学部長），出身学校長又は指導教員が作成し，厳封したもの。官公庁，会社等に在職中の者は，所属長が作成し厳封したもの。
6	志望理由書 (所定の用紙)	志願者本人が記入したもの。
7	研究計画書 (所定の用紙)	志願者本人が記入したもの。
8	住民票の写し	【外国籍を有する者のみ】 現に日本国に在住している方は，居住している市区町村長の発行の住民票の写し（在留資格が明示されているもの）又は，在留カードのコピー（両面）を提出してください。

（注）英語以外の外国語で記載されたものについては，日本語訳又は英語訳を添付してください。

2. 出願資格認定申請について

推薦入試，総合型入試，一般入試の出願資格（9）・（10）・（11）及び社会人特別入試の出願資格（8）により出願しようとする者は，事前に個別の出願資格審査を行いますので，下記に照会のうえ，期日までに所定の書類を提出してください。

【照会・提出先】

〒930 - 8555 富山市五福 3190

富山大学理工系学務課（理学部事務室入試担当） 076-445-6546

（1）出願資格審査に必要とする書類

- ① 出願資格審査申請書（本学所定の様式）
- ② 在学証明書又は卒業（修了）証明書
- ③ 学業成績証明書
- ④ 履歴書（本学所定の様式 ※外国人志願者のみ）
- ⑤ 長形3号の返信用封筒（定形郵便（速達）に必要な金額分の切手を貼付し，
あて名，郵便番号を明記したもの）

⑥ その他必要とする書類

推薦入試，総合型入試及び一般入試の出願資格（9）の該当者

- ・推薦書（本学所定の様式）
- ・所属する学科等の教育課程表

推薦入試，総合型入試及び一般入試の出願資格（10）の該当者

- ・研究生，研究員等として従事したことを証明する書類

推薦入試，総合型入試，一般入試の出願資格（11）及び社会人特別入試の出願資格（8）の該当者

- ・業績報告書（本学所定の様式）

※ 各証明書は，原本を提出してください。写しを提出された場合は受理しません。

英語以外の外国語で記載されたものについては，日本語訳または英語訳を添付してください。

(2) 書類提出期限

令和7年12月1日(月) 16時まで

原則、申請書類は郵送とし、上記期限までに必着とします。

やむを得ず持参する場合は、平日の9時から16時まで受付けます。

期限後の提出は受理しません。

(3) 審査結果の通知

出願資格審査の結果は、出願受付開始前日までに本人宛に通知します。

3. 受験票及び受験上の注意事項の印刷

- (1) 受験票は、志願者が郵送した出願書類を本学が受理した後、受験票等発行日以降に、インターネット出願サイト上で印刷ができるようになります。なお、受験票の印刷が可能になりましたら、インターネット出願時に登録した志願者のメールアドレスへ通知します。

受験票等発行日は試験日の一週間前を予定しています。

(注) 受験票等発行日は予定のため、変更になる可能性があります。

- (2) インターネット出願サイトの「ログイン」からマイページにログインします。ログインには、【メールアドレス・ご自身で設定したパスワード】が必要になります。
- (3) ログイン後、受験票をダウンロードしてください。受験票は、A4用紙にカラー印刷して、必ず試験当日に持参してください。なお、受験票と一緒に受験上の注意事項が印刷されます。必ず事前に熟読してください。

注意事項

- (1) 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、入試に関する問い合わせ先：理工系学務課（理学部事務室）へ速やかに連絡してください。
- また、パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が、一致していることを必ず確認してください。
- (2) メールが届かない場合でも、インターネット出願サイトにログインして受験票、受験上の注意事項を印刷してください。
- (3) インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。
- (4) 試験当日に、スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参し、試験終了後も大切に保管してください。

4. 合格者発表

以下の日時に、合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに、本人に合格通知書を郵送します。

なお、合否について、電話その他による問い合わせには一切応じません。

発表日 令和8年2月3日(火) 15時

5. 入学手続

入学手続は次のとおり行いますが、詳細は合格者に通知します。

(1) 入学手続

入試区分	入学手続日
令和 8 (2026) 年 4 月入学 【社会データサイエンスプログラム】 総合型 (第 2 次) 【グローバル SDGs プログラム】 B 日程	令和 8 (2026) 年 2 月 12 日 (水)
令和 8 (2026) 年 10 月入学 【グローバル SDGs プログラム】 B 日程	令和 8 (2026) 年 7 月 予定

(2) 入学手続時に要する経費

ア 入学料 282,000 円 (予定額)

上記の入学料は予定額であり、入学時に入学料を改定した場合は、新たな入学料を適用します。

また、納付された入学料は返還しません。

入学を辞退する場合は、必ず書面 (任意様式) で手続をしてください。

イ その他

学生教育研究災害傷害保険等の経費が別途必要です。

(3) 入学手続期間内に手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。

(4) 授業料の納付について

入学後 (前期分は 5 月、後期分は 11 月) にそれぞれ口座振替により納付することとします。

納付金額・納付方法等の詳細については、入学手続時に通知します。

〈参考〉令和 7 (2025) 年度授業料 年額 535,800 円

(5) 入学料、授業料とも、以下の条件を満たす者には、選考の上、全額または一部の免除を認める制度があります。

① 経済的理由により納付が困難ながら、学業優秀と認められる者

② 学資負担者が死亡するか、風水害等の特別の事情により納付が著しく困難であると認められる者

(6) 奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、日本学生支援機構等から奨学金が貸与されます。

6. 注意事項

- (1) 志願者本人が作成する書類において生成AIを利用することは禁止します。
- (2) 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- (3) 出願手続き後の願書等記載事項の変更は一切認めません。また、出願書類は、返却する旨を明示している場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (4) 所定の試験を一部でも欠席した者は、入学者選抜の対象から除きます。
なお、受験の際は、必ず受験票を携帯してください。
- (5) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

7. 安全保障輸出管理について

富山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供、貨物の輸出の観点から、安全保障輸出管理について厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学を許可できない場合や希望する教育が受けられない、希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、出願にあたっては注意してください。詳細については、本学ウェブサイトを参照してください。

【参考】「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」

URL <http://www3.u-toyama.ac.jp/soumu/kisoku/pdf/0110401.pdf>

8. 障害を有する入学志願者の事前相談

障害を有する入学志願者は、受験及び修学の際に特別な配慮を希望する場合は、本学理工系学務課（理学部事務室入試担当）に相談してください。

なお、相談に際しては、下記事項を記載した書類及び医師の診断書の提出を求める場合があります。

- ・障害の種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・修学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況、その他参考となる事項

相談期限 令和7(2025)年11月28日(金)

連絡先 〒930-8555 富山市五福3190

富山大学理工系学務課（理学部事務室入試担当） 076-445-6546

9. 志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者についてのみ、入学後における①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務、④統計調査及び分析を行うために利用します。
- (3) 本学合格者についての受験番号、氏名及び住所に限り、関係団体である同窓会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。なお、これらの団体からの連絡を希望しない場合は、理工系学務課（理学部事務室入試担当）まで、その旨を申し出てください。
- (4) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供しますが、守秘義務を遵守するよう指導します。

10. 大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例措置について

大学院設置基準第 14 条では、「教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」旨が規定されています。

これを踏まえ、本学環では、有職者が離職することなく修学できるよう所属先の勤務条件等を考慮し、時間割について、昼夜開講やその他の時間帯や時期等可能な範囲で相談に応じます。

11. 入試情報開示

令和8年度大学院持続可能社会創成学環入学者選抜に係る合否判定基準及び正解・解答例等については以下のとおりです。

(1) 合否判定基準

・社会データサイエンスプログラム

①総合型入試 出願書類（学業成績証明書）100点，面接（学力に関する口頭試問を含む）200点，合計300点満点とし，その高得点順に判定する。

・グローバルSDGsプログラム

①一般入試 出願書類（学業成績証明書100点，外部英語試験200点）300点，口述試験（プレゼンテーションを含む）700点，合計1000点満点とし，その高得点順に判定する。

②推薦入試 出願書類（学業成績証明書）300点，口述試験（プレゼンテーションを含む）700点，合計1000点満点とし，その高得点順に判定する。

③社会人特別入試 出願書類（学業成績証明書）300点，口述試験（プレゼンテーションを含む）700点，合計1000点満点とし，その高得点順に判定する。

(2) 出題意図等

面接：面接意図を公表する。

口述試験：出題意図を公表する。

(3) その他

①出題意図等は，本学環ウェブサイトにより公表する。

②入学試験の成績開示は行わない。

富山大学大学院持続可能社会創成学環（修士課程）案内

1. 教育研究上の目的

持続可能社会創成学環は、持続可能な社会の構築に必要な理工学及び社会科学の学際的な理論及び学際的応用を教授研究し、その深奥を学び、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識、卓越した能力及び倫理観を培い、持続可能社会の構築に貢献する人材の育成を目的とします。

（１）社会データサイエンスプログラム

現代社会にあふれるデータを適切に読み解くことで課題発見・解決を行うとともに、そこから新しい価値を創造して地域活性化やSDGs達成に貢献できる人材を育成する。

（２）グローバルSDGsプログラム

持続可能な社会を構築するために解決が必要な諸課題について、自らが新たな知を創造し、その知から更なる価値を生み出す能力とグローバルに活躍するための基礎となる英語力を身に付け、社会が直面する様々な課題に新たな解決策を示すことができる人材を育成する。

2. 教育課程の特色

本学環の教育課程の特色は、「持続可能社会」の実現に向けた課題解決ができる人材を養成することを目的として、現代社会が直面する課題に対して「地域」と「地球規模」の両方の視点から、文系、理系の広い分野の科目を開設することです。本学環は、主として、社会科学（経済学、経営学）及び理工学（環境科学、都市デザイン学）分野の教員から構成されており、「持続可能社会」の課題解決に際して、常に社会・環境・経済の視点から考えられるように授業科目を開設しています。

学生は、幅広い知識を身に付ける大学院共通科目、「持続可能社会」に関する幅広い知識や実践力を身に付ける学環共通科目、課題解決のために必要な専門的な知識や技術を身に付ける学環専門科目により、普遍的能力と専門的能力を身に付け、複数指導教員による多面的な視点による研究指導を受けます。

本学環では、学生自身が設定した課題に対して、分野横断的な学修を重視しています。そのため、講義や演習、実習による学修に重きを置いたカリキュラムを両プログラムに共通して設けています。特別研究に配分される時間が従来のカリキュラムに比べて少ないため、授業計画が設計しやすく、結果として社会人を対象とした学び直しのニーズにも対応可能です。グローバルSDGsプログラムにおいては、特別研究による学修を重視した従来型のカリキュラムも同時に用意しており、学生のニーズに応じて選択が可能なカリキュラム編成となっています。

3. 教員（専任）の研究指導内容一覧

社会データサイエンスプログラム

(https://www.gss.u-toyama.ac.jp/program/social_data_science/)

研究領域	教員氏名	研究指導内容
経済学	教授 唐渡 広志	経済統計学，計量経済学において，不動産価格指数分析，都市・地域経済分析，不動産市場分析についての研究指導を行う。
経済学	教授 モヴシュク オレクサンダー	計量経済学において関連テーマについての研究指導を行う。
経済学	教授 本間 哲志	金融論，産業組織論，計量経済学において，銀行業の産業組織に関する理論的及び実証的分析についての研究指導を行う。
経済学	教授 八木 迪幸	環境経済学において、環境効率・生産性の分析および非市場評価に関する研究指導を行う。
社会学	教授 中村 真由美	社会調査法，調査データ解析において，地方創生や労働・ジェンダーなどの関連テーマについて研究指導を行う。
経営学	教授 横山 一憲	オペレーションズリサーチにおいて，数理最適化などの関連テーマについての研究指導を行う。
情報科学	准教授 春木 孝之	計算科学，未病科学，プラズマ物理学において関連テーマについての研究指導を行う。
都市デザイン学	教授 堀 祐治	環境工学・設備工学において，建築と都市における評価，向上，循環型社会に向けた環境負荷削減，エネルギー消費削減と再生可能エネルギーへの転換等，都市と建築のデザインに関する研究指導を行う。
交通計画	准教授 猪井 博登	土木計画学，交通工学，都市計画において，公共交通整備のインパクト評価や自動車から公共交通への行動変容に関する研究指導を行う。
地質学	准教授 安江 健一	地形学，地質学において，地域防災や教育観光についての研究指導を行う。
固体地球物理学	教授 渡邊 了	固体地球物理学において，地球内部の物質や状態の推定に関する研究指導を行う。
気象学	教授 安永 数明	中緯度、熱帯におけるメソ、総観規模の気象現象に関わる研究の指導を行う。
応用気象学	准教授 濱田 篤	雲や降水に関わる気象現象について，データ解析を中心とした研究に関する指導を行う。

グローバルSDGsプログラム

(https://www.gss.u-toyama.ac.jp/program/global_sdgs/)

研究領域	教員氏名	研究指導内容
分析化学	教授 倉光 英樹	環境化学および分析化学的な研究においてSDGsに関連した課題を取り上げ、新規センサーや分析法の開発とそれらを利用した環境計測に関する研究を指導する。
土壌環境学	講師 佐澤 和人	土壌・水環境中の有機物質を対象に、その科学的分析環境汚染物質との相互作用、および、それによって生じる生態毒性変化に関する研究指導を行う。
地球化学	教授 張 勁	化学海洋学と環境地球化学においてSDGsに関連した課題を取り上げ、必要な学術情報の収集とその理解、調査研究手法に関する研究指導を行う。
地球化学	教授 堀川 恵司	環境地球科学においてSDGsに関連した課題を取り上げ、必要な学術情報の収集とその理解、調査研究手法に関する研究指導を行う。
地球化学	助教 鹿児島 渉悟	地球表層の物質循環や火山・地震活動とSDGsに関連する課題を取り上げ、その解明に向けて地球化学的手法を用いた研究の指導を行う。
生態学	教授 和田 直也	生態学および環境保全科学においてSDGsに関連した課題を取り上げ、必要な学術情報の収集とその理解、調査研究手法に関する研究指導を行う。
水圏生態学	助教 ピーターソン マイルズ イサオ	保全生態学の研究課題に取り組み、特に水生環境で重大な影響を及ぼしている外来種の定着プロセスや生態系影響の研究を行う。
害虫管理学	准教授 土田 努	生物間相互作用や内部共生現象を対象として、総合病害虫管理や生物遺伝資源利用に資する課題の指導を行う。
環境物理学	准教授 榎本 勝成	レーザー分光の技術を用い、大気汚染物質や重金属含有分子などの特徴や反応素過程の調査や、環境モニタリング技術の開発についての研究指導を行う。
経済学	教授 八木 迪幸	環境経済学において、環境効率・生産性の分析および非市場評価に関する研究指導を行う。
経営学	教授 馬 駿	組織における人材のマネジメント、および人材開発政策に関する研究において、必要な学術情報の収集とその理解、定量分析とフィールド調査の手法に関する研究指導を行う。
地域研究	教授 堀江 典生	移民研究および境界研究においてSDGsに関連した課題を取り上げ、必要な学術情報の収集とその理解、調査研究手法に関する研究指導を行う。
サステナビリティ学	教授 ギータ モハン	サステナビリティ学において、SDGsに関連した課題を取り上げ、気候変動が持続可能な農業と食料安全保障に与える影響やサステイナブルな水管理の研究指導を行う。

サステナビリティ学	准教授 チャクラボルティ シャミック	サステナビリティ学においてSDGsに関連した課題を取り上げ、社会生態系についての観点から天然資源の持続的利用や生態系サービスの評価についての研究指導を行う。
サステナビリティ学	助教 シシル シャーミン	土地利用や環境保全分野においてSDGsに関連した課題を取り上げる。GIS（地理情報システム）やリモートセンシングなどの最先端技術を駆使して、生態系や自然環境の保全に取り組む。また、基礎的な学術知識や研究手法の整理・理解に関する研究指導を行う。

4. 授業科目及び単位数

科目区分		授 業 科 目	開設 単位	備 考
大学院共通科目		○研究倫理	1	○印は必修科目
		○科学技術と持続可能社会	1	
		地域共生社会特論	1	
		研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用	1	
		アート・デザイン思考	1	
		英語論文作成Ⅰ	1	
		英語論文作成Ⅱ	1	
		データサイエンス特論	1	
		大学院生のためのキャリア形成	1	
学環共通科目		知的財産法	1	○印は必修科目
		○持続可能社会創成学概論	1	
		文化の多様性と持続可能社会	1	
		サステイナビリティ環境科学	1	
		グローバル・イシューと社会科学	1	
		デザイン思考	1	
		アントレプレナーシップ論	1	
学環専門科目（社会データサイエンスプログラム）	基盤科目	インターンシップ	1	○印は必修科目
		○線形代数特論	1	
		○数理統計学特論Ⅰ	1	
		○数理統計学特論Ⅱ	1	
		○情報科学特論	1	
		○サイバーフィジカルシステム特論	1	
	実践科目	○情報センシング特論	1	
		最適化問題特論	1	
		時系列解析特論	1	
		確率過程特論	1	
		機械学習特論Ⅰ	1	
		機械学習特論Ⅱ	1	
		空間統計特論Ⅰ	1	
		空間統計特論Ⅱ	1	
		計量経済学特論Ⅰ	1	
		計量経済学特論Ⅱ	1	
		社会データサイエンス特別講義	1	
		社会データサイエンス特論演習A	1	
		社会データサイエンス特論演習B	1	
		社会データサイエンス海外英語実習Ⅰ	1	
		社会データサイエンス海外英語実習Ⅱ	1	
	ドメイン科目	【都市デザイン学系】		
		都市・地域計画特論	1	
		持続可能な社会に資する交通特論	1	
		自然災害学特論	1	
		災害情報学特論	1	
		都市・建築環境特論Ⅰ（視環境・色彩計画）	1	
		都市・建築環境特論Ⅱ（環境設備・エネルギー計画）	1	
		都市・建築設備特論Ⅲ（火災安全工学）	1	
		地球内部物性特論	1	
		応用気象学特論	1	
		気象学特論	1	
		【社会科学系】		
		地域社会学特論Ⅰ	1	
		地域社会学特論Ⅱ	1	
		経営学特論Ⅰ	1	
		経営学特論Ⅱ	1	

科目区分		授 業 科 目	開設 単位	備 考
学 環 専 門 科 目 （社会データサイエンスプログラム）	ド メ イ ン 科 目	現代経済理論特論Ⅰ	1	
		現代経済理論特論Ⅱ	1	
		応用計量経済学特論Ⅰ	1	
		応用計量経済学特論Ⅱ	1	
		金融の計量経済分析特論Ⅰ	1	
		金融の計量経済分析特論Ⅱ	1	
		社会調査法特論Ⅰ	1	
		社会調査法特論Ⅱ	1	
		オペレーションズ・リサーチ特論Ⅰ	1	
		オペレーションズ・リサーチ特論Ⅱ	1	
		環境効率・生産性特論	1	
		環境価値評価特論	1	
	特 別 研 究	○社会データサイエンス特別演習Ⅰ	1	○印は必修科目
		○社会データサイエンス特別演習Ⅱ	1	
		○社会データサイエンス特別研究Ⅰ	1	
		○社会データサイエンス特別研究Ⅱ	1	
学 環 専 門 科 目 （グローバルSDGsプログラム）	基 盤 科 目	○サステナビリティ環境理学基礎	1	○印は必修科目
		○サステナビリティ経済学基礎	1	
		○アカデミックライティング・コミュニケーション特論	1	
		○サステナビリティデータ解析・GIS演習	2	
	実 践 科 目	移民研究特論	1	◎は選択必修科目 （実践科目のうち◎から1単位以上選択）
		境界研究特論	1	
		経営学特論Ⅰ	1	
		経営学特論Ⅱ	1	
		気候変動・持続可能な農業と食料安全保障	1	
		サステイナブル水資源管理学	1	
		社会生態システム特論	1	
		サステイナブル天然資源管理学特論	1	
		リモートセンシングと環境モニタリング	1	
		社会科学におけるリモートセンシングの応用	1	
		気候変動解析学	1	
		水環境計測特論Ⅰ	1	
		水環境計測特論Ⅱ	1	
		水環境計測特論Ⅲ	1	
		水環境計測特論Ⅳ	1	
		化学海洋学	1	
		火山地震化学	1	
		サステイナビリティ物理学特論：エネルギーと計測技術	1	
		植物生態学特論	1	
		保全生物学特論	1	
		植物生産学特論	1	
		総合病害虫管理学	1	
		環境効率・生産性特論	1	
		環境価値評価特論	1	
		グローバルSDGs特別講義	1	
		◎グローバルSDGs海外実践実習Ⅰ	1	
		◎グローバルSDGs海外実践実習Ⅱ	1	
		◎グローバルSDGs海外英語実習Ⅰ	1	
		◎グローバルSDGs海外英語実習Ⅱ	1	
		◎高低差4000mの共生社会実習	1	
		◎短期SDGsインターンシップ	1	
		移民研究ゼミナールⅠ	1	
		移民研究ゼミナールⅡ	1	
		境界研究ゼミナールⅠ	1	
		境界研究ゼミナールⅡ	1	
		組織と人材のマネジメントゼミナールⅠ	1	
		組織と人材のマネジメントゼミナールⅡ	1	

科目区分		授 業 科 目	開設 単位	備 考
学 環 専 門 科 目 (グ ロ ー バ ル S D G s プ ロ グ ラ ム)	実 践 科 目	人材開発政策ゼミナールⅠ	1	
		人材開発政策ゼミナールⅡ	1	
		グローバルサステナビリティゼミナールⅠ	1	
		グローバルサステナビリティゼミナールⅡ	1	
		レジリエント持続可能社会ゼミナールⅠ	1	
		レジリエント持続可能社会ゼミナールⅡ	1	
		社会生態システム研究ゼミナールⅠ	1	
		社会生態システム研究ゼミナールⅡ	1	
		サステナブル天然資源管理学ゼミナールⅠ	1	
		サステナブル天然資源管理学ゼミナールⅡ	1	
		リモートセンシング環境モニタリングゼミナールⅠ	1	
		リモートセンシング環境モニタリングゼミナールⅡ	1	
		リモートセンシング応用ゼミナールⅠ	1	
		リモートセンシング応用ゼミナールⅡ	1	
		同位体分析ゼミナール	1	
		同位体地球化学ゼミナールⅠ	1	
		同位体地球化学ゼミナールⅡ	1	
		環境化学計測ゼミナールⅠ	1	
		環境化学計測ゼミナールⅡ	1	
		水処理化学ゼミナールⅠ	1	
		水処理化学ゼミナールⅡ	1	
		水環境計測ゼミナールⅠ	1	
		水環境計測ゼミナールⅡ	1	
		土壌環境計測ゼミナールⅠ	1	
		土壌環境計測ゼミナールⅡ	1	
		化学海洋学ゼミナールⅠ	1	
		化学海洋学ゼミナールⅡ	1	
		水圏化学ゼミナールⅠ	1	
		水圏化学ゼミナールⅡ	1	
		量子エレクトロニクスゼミナールⅠ	1	
		量子エレクトロニクスゼミナールⅡ	1	
		植物生態学ゼミナール	1	
		森林生態管理学ゼミナール	1	
		高山生態学ゼミナール	1	
		保全生物学ゼミナール	1	
		作物遺伝学ゼミナールⅠ	1	
		作物遺伝学ゼミナールⅡ	1	
		植物分子遺伝学ゼミナールⅠ	1	
		植物分子遺伝学ゼミナールⅡ	1	
		共生機能科学ゼミナールⅠ	1	
		共生機能科学ゼミナールⅡ	1	
		総合病害虫管理学ゼミナールⅠ	1	
		総合病害虫管理学ゼミナールⅡ	1	
		環境効率・生産性ゼミナールⅠ	1	
		環境効率・生産性ゼミナールⅡ	1	
		環境価値評価ゼミナールⅠ	1	
		環境価値評価ゼミナールⅡ	1	
	特 別 研 究	◎先端研究トラック		◎は選択必修科目 (先端研究トラック又は 実践研究トラックの いずれかを選択)
		サステナビリティ先端研究Ⅰ	2	
		サステナビリティ先端研究Ⅱ	2	
		サステナビリティ先端研究Ⅲ	2	
		サステナビリティ先端研究Ⅳ	2	
		サステナビリティ先端研究Ⅴ	2	
		◎実践研究トラック		
		サステナビリティ実践研究Ⅰ	2	
		サステナビリティ実践研究Ⅱ	2	

【単位修得方法】

プログラム	大学院共通科目	学環共通科目	学環専門科目
社会データサイエンス プログラム	必修科目 2単位 選択科目 2単位以上	必修科目 1単位 選択科目 3単位以上	必修科目 基盤科目 6単位 特別研究 4単位 選択科目 実践科目から8単位以上 ドメイン科目から4単位以上
グローバルSDGs プログラム	必修科目 2単位 選択科目 2単位以上	必修科目 1単位 選択科目 3単位以上	必修科目 基盤科目 5単位 選択科目 次の選択必修科目を含む17単位 以上 ・実践科目のうち◎から1単 位以上 ・特別研究のうち◎の先端 研究トラック合計10単位 又は実践研究トラック合 計4単位

5. 修了の要件

本学大学院持続可能社会創成学環修士課程に2年以上在学し、各プログラム所定の科目を30単位以上修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修士の学位が授与されます。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとします。

各プログラムで授与される学位は次のとおりです。

(授与される学位)

社会データサイエンスプログラム	修士（学術）
グローバルSDGsプログラム	修士（サステイナビリティ学）

6. 長期履修制度

長期履修制度とは、職業（常勤）等を有している等の理由により、授業や研究指導の履修時間が制約され、標準修業年限では修了が困難な方のために、標準修業年限を超えた一定の期間にわたって計画的に教育課程を履修して修了する制度です。本修士課程では最長4年までの在学期間を認めています。

入学時に許可されれば、標準修業年限（2年）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うこととなります。

※ 申請方法等は、入学手続き書類郵送時にお知らせします。

申請しても許可されない場合もありますので、ご承知おきください。